

報道関係各位

平成わらしベストーリー 岡山の二畳半ショップが IT を取り入れ躍進 リユース市場のインフラを支え システム流通額 5 期連続成長

リユース事業を展開している株式会社ベクトル(本社:岡山県岡山市、代表:村川 智博)は 2017 年度の自社システム流通額が 5 期連続成長を達成し、前期 105%達成となる見込みを発表しました。

当社は国内最大級のブランド古着マーケットを構築し、ブランド数 6,000 以上、アイテム数 70 万点超を取り扱っています。自社のブランド古着通販 EC サイトだけでなく、楽天市場やヤフオクなどの他社 EC モールに出品している商品や全国 86 か所にある実店舗の在庫を一元管理するマルチチャネル出品システム「ベクトルプレミアムシステム(以下 VPS)」を自社開発し、また 2016 年には商品の査定から買取成立までの手続き・出品作業までをワンストップで行う物流センター「ベクトルグローバルポート」を設立しました。自社サービスに加えて、VPS と物流センターを活用したアライアンスにより現在 21 社のリユースサービスのインフラを支えています。

フリマアプリの普及などもあり近年成長目覚ましい日本のリユース市場ですが、世界規模ではまだまだ低いリユース率にとどまっています。当社は IT テクノロジーやインターネットを最大限に活用し、リユース・リサイクル活動が当たり前という新しい価値観の普及に向け事業を行っています。

■ 居酒屋の軒先二畳半のスペースから出発、自分のコレクションのみでわらしベスタート

当社のスタート地点はスニーカーマニアであった代表の村川が岡山市で 19 歳のときに居酒屋の軒先で始めた、二畳半の店舗でした。

株式会社ベクトル 代表取締役社長 村川智博

岡山県岡山市出身。趣味であるスニーカー収集が高じてアパレル品の買取販売を中心としたリサイクル事業をスタートし、2003 年に株式会社ベクトルを設立。その後全国的に FC 店を展開し、現在 86 店舗に拡大中。リアル店舗だけでなく IT テクノロジー・インターネットも活用したマルチチャネル販売や、インフラ提供によるアライアンス事業で業績を伸ばしている。



1990 年代、日本中で社会現象を巻き起こしたのが有名バスケット選手の名を冠したスニーカーのブームです。当時、岡山市在住の一高校生だった当社代表・村川も夢中になりましたが、集めようにも資金がありません。村川は「売ります、買います」の個人投稿情報誌を活用してスニーカーの売買を行い、差益でさらにコレクションを集めました。

手元のスニーカーが 2,000 足を超えた 19 歳の頃、知り合いの好意で貸してもらった居酒屋の軒先二畳半のスペースでリサイクルショップをスタート。看板も店名もなく、フリーマーケットのように手持ちのコレクションを売買し“わらしべ長者”のようにどんどん品数を増やしていきました。



岡山市内の居酒屋軒先で開業(1997年)

■ 転機はインターネットオークションサイトへの参入、FC 事業に本格参入

転機が訪れたのは 1999 年、ヤフオク！（旧：Yahoo!オークション 運営：ヤフー株式会社）のサービス開始でした。まだ黎明期とあってほとんどの店や企業がヤフオク！に参入していない中、IT を使ったリユース売買に大きな可能性を感じた村川は在庫リユース衣料を片っ端からヤフオク！に登録しました。まだ出品数も多くなかったヤフオク！のファッションカテゴリーの約半分は村川の商品で占められ、飛ぶように落札されました。

ヤフオク！での成功を起爆剤に事業は成長し、本格的に FC 事業を始めたいという思いから 2003 年にベクトルを創業しました。

■ 在庫管理システム VPS により BtoB ビジネスモデルがスタートし飛躍

リユース商品は 1 点ずつの買取となるため各店舗での買取・売却状況について即時把握が難しく、各社とも在庫管理が後手に回っていました。当社は 2012 年に在庫を一元管理するマルチチャンネル出品システム VPS を開発しました。これにより全国 86 店舗のリサイクルショップ・自社 EC ショップ・モール内 EC ショップなど複数の販売先にリアルタイムで商品を卸すマルチチャンネル販売可能になりました。また 2016 年に開設された物流センター『ベクトルグローバルポート』により他社サービスへのシステム連携・提供が可能となりました。それまで BtoC 主体の経営を行ってきた当社に BtoB による収益が加わったことで事業は飛躍的に拡大しました。提携先企業は一切の設備投資なくリユース市場に参入できるようになり、リユース市場の活況と共にアライアンス事業は拡大しています。



物流センター『ベクトルグローバルポート』

■ 今後も拡大するリユース市場と「ゴミバコのないセカイへ」の想い



単位：億円
内側は流通経路別、外側は品目別の内訳

経済産業省が発表した報告書によると、現在のリユース市場規模は消費者の最終需要ベースだけでも 1 兆 1,000 億円を記録し拡大傾向にあります。特に衣料品は全体の約 25%を占める 2,753 億円市場規模となります。（※1）

当社はもともと代表の“スニーカー愛”から端を発し、資源的にも価値のある衣料品を大切にしていきたいと考えています。2018 年からはより一層国内のリユース・リサイクル活動が活発になるよう、当社の管理システムをアパレルショップや同業他社にも提供するアライアンス戦略に注力していく予定です。

「ゴミバコのないセカイへ」を経営理念として掲げ循環型社会を目指し、当社サービスの利用を通じリユース・リサイクル活動が当たり前という新しい価値観の普及に向け尽力します。

※1 出典元：環境省「データで見る消費者とリユース」 ※2 出典元：中小企業基盤整備機構

■ベクトルグローバルポートについて <http://vectorcorp.co.jp/vgp>

国内最大級のブランド古着通販サイト「ベクトルパーク」や、全国に86店舗を展開しているリサイクルショップ「ベクトル」などで取り扱っている商品の物流拠点です。オンライン宅配買取サイト「フクウロ」を通じて、毎日全国各地から商品が集まり、商品の査定から、買い取りの手続き、出品作業までをワンストップで行います。またITを活用し、お客様の購買データや、商品情報を管理することでECビジネスを飛躍的に効率化しています。

■株式会社ベクトルについて <http://vectorcorp.co.jp/>

「ゴミバコのないセカイへ」を企業理念とし、全国に86店舗展開するリサイクルショップ「ベクトル」とブランド古着通販サイトの運営をしております。オンライン宅配買取サービス「フクウロ」や店舗で仕入れた古着ファッションアイテムを自社運営通販サイト「ベクトルパーク」を始め、楽天やYahoo!オークション等で販売するマルチチャネル販売戦略をとっており、取り扱いアイテム数は常時70万点以上と日本最大級の品揃えを実現しています。また、在庫を一元管理する独自のシステムを業務提携による他社へ提供し各社のリユースビジネスを支える新たな取り組みを行っております。

社名 : 株式会社ベクトル
設立 : 2003年2月
所在地 : 岡山県岡山市北区学南町3-2-1 岡山放送別棟 2F(岡山本社)
東京都港区芝 3-15-13 YODAビル 4F(東京本部)
従業員数 : 202名(2017年2月末時点)
代表者 : 代表取締役 村川智博
事業内容 : リサイクルショップ運営、ECサイト運営、講演会・イベント事業
サービスサイト : ブランド古着通販サイト「ベクトルパーク」 <http://vector-park.jp/>
古着宅配買取サービス「フクウロ」 <http://vector-kaitori.jp/>



本リリースに関するお問合せ

ベクトルグループ 広報担当: 友近

TEL:03-6453-6936 FAX:03-6453-6937 MAIL:koho@vector-enter.jp